

部局名	消防本部	所属名	消防署	所属長名	岩井 精一	電 話	458-0119 内線100
-----	------	-----	-----	------	-------	-----	----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3364		事務事業名称	救助活動事業						短縮コード	経常	3364	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費		
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		消防組織法・消防法・消防力の整備指針							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
消防法３６条の２に基づき救助業務を実施している。昭和４７年中央消防署に救助隊を配置した。災害における人命救助を的確に実施することを目的とする。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	５本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして							
社会経済情勢の変化に伴い災害の複雑化・多様化さらにはテロ災害・武力災害等新たな事態が考えられる。					大項目（節）	01	市民の安全							
					中 項 目	02	消防							
					小項目（施策）	03	救急・救助体制の充実							
					細 項 目	01	救急・救助体制の整備							
						02	救急・救助資機材の整備							
				実 施 計 画 の 計 画 事 業										
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		平成21年4月 ～ 平成22年3月		計 画 事 業 費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内で生じた要救助者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 7 6 件災害に出動して4 3 件の活動，3 8 人の要救助者を救助した。又火災出動もし，各種救助資機材の維持を図るとともに，資機材を使用し ての水上，陸上における救助現場を想定した訓練，研修を実施した。更に救出困難かつ多数の傷病者が予想されるNBC（核・生物・化学）災害に 備え，他の部隊と連携した訓練を実施した。							
	※平成22年度に計画していること： 災害発生時，要救助者が容態を悪化させずに，迅速，安全に救出する。救出困難かつ多数の傷病者が予想されるNBC（核・生物・化学）災害に 備え，他の部隊と連携した訓練を実施する。							
意図 （何を狙っているのか）	災害発生時，要救助者が容態を悪化させずに，迅速，安全に救出される。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	出動件数	件	46	45	76	76	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	活動件数	件	24	23	43	43	
	指標 2	救助人員	人	24	23	38	38	
	指標 3							
成果指標	指標 1	救助率	%	100	100	100	100	
	指標 2	平均現着時間	分	7.8	7.5	11.7	7.5	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3364	事務事業名称	救助活動事業			所属名	消防署
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	665	478	462	1, 047	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			災害用救助資機材の整備及び維持管理費	災害用救助資機材の整備及び維持管理費	災害用救助資機材の整備及び維持管理費	災害用救助資機材の整備及び維持管理費	
	人件費 (B)			千円	192, 037	190, 170	188, 078. 1	190, 170
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	192, 702	190, 648	188, 540. 1	191, 217	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている		事業区分「法定受託事務」のため評価対象外					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☒ 評価対象外事項							
目的 妥当 性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		事業区分「法定受託事務」のため評価対象外					
			☐ 達成していない							
			☒ 評価対象外事項							
目的 妥当 性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		事業区分「法定受託事務」のため評価対象外					
			☐ 可能性はない							
			☒ 評価対象外事項							
目的 妥当 性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい		事業区分「法定受託事務」のため評価対象外					
			☐ 見直す必要がある							
			☒ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		今後も人命救助のための様々な災害事象を想定した訓練を指揮・救急・警防隊と合同で実施し、効率的な救助事業を継続して行う。					
			☐ 効率性向上の可能性はある							
			☐ 両方可能性はある							
			☒ 可能性がない							
	有効性・ 効率性	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
				☐ 臨時的任用職員等の活用						
				☐ I T 化等の業務プロセスの見直し						
				☐ 受益者負担の見直し						
				☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
				☐ 上記以外の方法						
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある							
			☐ ない							

コード	3364	事務事業名称	救助活動事業				所属名	消防署
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			社会経済情勢の変化に伴い災害の複雑化・多様化更には、テロ災害・武力攻撃・天害等新たな事象に対応するため救助体制の充実強化を推進していきます。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			救助活動事業は義務的事業として人命の救助を主体として開始した事業のため成果は不変です。今後も各種災害における人命救助のため救助活動の向上に努めています。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☐			
		不 変	☐	☒	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
災害発生時における迅速な救助活動を実施すること。 救助技術向上のための訓練の実施及び救助資器材の充実・整備を図ること。									

所属長コメント	救助活動事業は、災害現場において、要救助者を救出する救助出動が主体の事業です。 災害現場において、迅速・効率的・効果的な救助活動のため救助力（救助技術・救助用資機材）を維持してまいります。 また、近年は、生活様式の変化により災害が複雑多様化・大規模化、更には、テロ災害を含め、一災害現場で多数の要救助者が同時発生することが危惧されており、いかなる事態においても救助活動を実施するために、救助力の維持を図り、救助敷材の整備・点検を実施し、継続して救助業務を展開してまいります。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									